

## **【事例 6】多摩信用金庫（東京都）**

～地域一体となった創業支援の推進～

### 【事例6】多摩信用金庫（東京都） ～地域一体となった創業支援の推進～

多摩信用金庫は、東京都多摩地域を地盤としており、「たましんは、お客さまの幸せを創造する企業 たましんの仕事は、お客さまの幸せづくり」を経営理念としている。多摩地域において事業所数が減少基調にあることを受け、創業を支援するための様々な取組みを行っている。

例えば、創業間もない法人・個人を対象とした総合的な支援施設である「たましんインキュベーション施設 ブルームセンター」を運営しているほか、先輩創業者の体験談を聞くことができる「ミニブルーム交流カフェ」を開催している。また、2013年11月には、東京都「インキュベーション HUB 推進プロジェクト事業」<sup>26</sup>の採択を受け、「創業支援センターTAMA」を開設し、多摩地域に点在する創業支援機関のネットワーク化を推進しており、創業支援機関と連携したセミナーの開催等を行っている。

さらに、多摩地域の多くの自治体が2014年1月に施行された産業競争力強化法にもとづく創業支援事業計画を策定しており、多摩信用金庫は各自治体の創業支援事業計画に参画し、広域で創業支援事業を展開している。八王子市における「起業家応援プロジェクト八王子」もそのひとつである。

#### <「起業家応援プロジェクト八王子」の概要>

- ・八王子市、八王子商工会議所、多摩信用金庫、サイバーシルクロード八王子<sup>27</sup>、一般社団法人まちづくり八王子の5者サイバーシルクロード八王子では、八王子が連携し、八王子市内で起業する方々を応援するためのプロジェクト。
- ・受講生1人1人にアドバイザーがつく「本気の創業塾」の開講、事業計画の作成支援のほか、開業場所（SOHO施設や空き店舗等）の紹介やビジネスマッチングなどを行っている。

#### <多摩信用金庫の創業支援事業に係る主な実績（2014年度）>

- ・個別相談件数 449件
- ・創業塾・セミナーの開催 計37回（参加者578名）  
※上記については創業支援センターTAMAとしての実績
- ・創業補助金採択件数 83件（全国の認定支援機関の中で最多の実績）

多摩信用金庫の取組みに関し、多摩信用金庫および、サイバーシルクロード八王子を運営している八王子市と八王子商工会議所の声をご紹介します。

<sup>26</sup> 高い支援能力・ノウハウを有するインキュベータが中心となって、複数のインキュベータの連携体（＝インキュベーションHUB）を構築し、それぞれの資源を活用し合いながら、創業予定者の発掘・育成から成長促進までの支援を一体的に行う取組みを、東京都が後押しするもの。選定された事業者に対して、東京都は3か年にわたりその実施に要した経費の一部を補助することとなっている。

<sup>27</sup> サイバーシルクロード八王子は、戦略的な産業政策を推進するべく、八王子市長の私的諮問機関である「八王子地域産業振興会議」の提言を受け、2001年10月に八王子市役所と八王子商工会議所が連携して設立した「首都圏情報産業特区・八王子」構想推進協議会が改組されたものである。



### 多摩信用金庫

本店所在地 : 東京都立川市曙町 2 丁目 8 番 28 号  
創 立 : 1933 年 12 月 26 日  
預金積金残高 : 2 兆 5,687 億円 (譲渡性預金を除く)  
貸出金 : 1 兆 93 億円  
職員数 : 2,051 名  
店舗数 : 本支店 76、出張所 4 (東京 79、神奈川 1)  
URL : <http://www.tamashin.jp/>

(2015 年 9 月末現在)

多摩信用金庫は地域における創業者数の増加を目指し、融資やセミナー等に加えて、インキュベーション施設の運営などの各種施策を実施している。

こうした創業支援に関する取組みについて、価値創造事業部の沼崎主任調査役にお話を伺った。

#### —創業支援センターTAMAの活動内容は。

東京都「インキュベーション HUB 推進プロジェクト事業」の採択を受け、2013 年 11 月に創業支援センターTAMA を開設し、多摩地域に点在する創業支援機関のネットワーク化を推進するほか、創業支援機関と連携して創業塾・セミナーを各地で開催しています。カリキュラムは、一般的な創業の基礎知識について学べるものだけではなく、女性向けやコミュニティビジネスに特化した創業支援など、各支援機関の強みを反映させていることが特徴として挙げられます。

多摩地域に点在する創業支援機関のネットワーク化に当たっては、当庫がこれまで築き上げてきた地域のネットワークが非常に役立っています。

また、定期的に、自治体担当者を招いた情報交換会を開催し、創業支援事例の共有を行うなど、自治体と創業支援機関、創業支援機関同士の交流を図っています。

#### —「起業家応援プロジェクト八王子」における多摩信用金庫の役割は。

創業個別相談窓口を月 2 回担当しています。個別相談窓口に来訪される創業希望者は、ま

だ事業構想が具体的に固まっていない方から、事業計画が仕上がっていて資金調達を検討している方まで様々です。そのため、初歩的な相談から事業計画策定支援、資金調達のアドバイス、補助金申請支援、各種情報提供など、相談者のニーズに応じた対応を心掛けています。

このような役割は創業者の裾野を広げ、多摩地域の活性化に寄与するために重要であると考えています。

#### —「起業家応援プロジェクト八王子」における実績は。

創業実績というわけではありませんが、創業に関する個別相談件数は増えており、「起業家応援プロジェクト八王子」で行ってきた創業支援の取組みは着実に浸透していると感じています。

#### —創業を希望していても、創業に至らないケースの原因として考えられることは。

やはり資金面での課題で創業を諦めるというケースが多いです。そのほか、業種にもよりますが、開業に向けて準備をしていく中で、「事業の実現可能性が低い」、「内部環境・外

部環境の分析が不十分」等の理由により、時期尚早と感じ、開業時期を見直すケースもあります。

こうした方々に対しては、サイバーシルクロード八王子が開催している「本気の創業塾」等に参加してもらうことなどにより、事業計画のブラッシュアップ等を行っていただいています。

また、「本気の創業塾」等への参加を通じて、同じ志を持つ仲間から刺激を受けるという効果も期待できると考えています。

#### —創業支援事業において工夫している点は。

「金融機関は敷居が高い」というイメージを払拭するよう工夫しており、例えば、創業支援センターTAMAのポータルサイト (<http://www.startup-tama.jp>) は、金融機関らしくないデザインを意識しています。

また、創業支援メニューは多岐にわたりますので、創業支援の担当者でないと、スムーズにお客さまを誘導できない可能性があります。

そこで、創業支援の担当者以外にも柔軟に対応できるよう、創業支援メニューをコンパクトにまとめた「創業支援カード」を作成しています。このカードを利用することで、創業支援センターTAMAの相談窓口へお客さまを誘導しやすくなり、相談件数も増えてきています。

#### —創業支援事業における今後の展望は。

地域の創業支援機関と連携しながら、初歩的な相談から創業に至るまでの支援、また創業後のフォローアップまで一貫した支援を行い、創業希望者の想いを具現化するサポートをしていきたいです。

(2015年11月17日)



創業支援センターTAMAのポータルサイト



### 八王子市

総面積 : 186.38 km<sup>2</sup>

人口 : 約 56 万人

世帯数 : 259,729 世帯

URL : <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/>

(2015 年 12 月末現在)

2013 年に策定した「八王子ビジョン 2022」において、八王子市役所は「魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち」を理想の都市像のひとつとして掲げた。ここでは、既存の多様な産業資源の結び付きにより地域産業を振興するとともに、新たな産業の創出や高度技術の集積化などを推進するとされている。

創業支援事業のひとつであるサイバーシルクロード八王子について、産業振興部企業支援課の多田主任にお話を伺った。

#### ―八王子市がサイバーシルクロード八王子へ参画した経緯は。

サイバーシルクロード八王子は、戦略的な産業政策を推進するため、前八王子市長の私的諮問機関である「八王子市地域産業振興会議」の提言を受けて、2001 年 10 月に八王子市と八王子商工会議所の連携で「首都圏情報産業特区・八王子」構想推進協議会を設立したことに始まります。この協議会は、柔軟な発想等で活動できるよう商工会議所内の一協議会として位置付けられ、法人格は与えられていません。また、当時から愛称としてサイバーシルクロード八王子と呼ばれており、本年度から新産業の創出等の新たな事業計画に取り組むことをきっかけにサイバーシルクロード八王子を正式名称として現在に至っています。

また、設立の際には、八王子市に在住の元日本ビューレット・パッカー株式会社社長を務めた甲谷勝人氏に会長に就任していただきました。甲谷氏は、地元企業を積極的に訪問し、シンポジウム等による企業の交流や、地域振興の基盤になる人材育成に大変なご尽力いただきました。サイバーシルクロード八王子の設立に当たり、こうした協力が得られたことは非常に有益でした。また、2003 年に

は、経営の悩み相談に対応するべく、企業 OB や専門家らの有志が参加するアドバイザー組織である「ビジネスお助け隊」が発足するなど、地域産業の振興は、地元の理解者による様々な協力によってより充実したものとなっています。

#### ―サイバーシルクロード八王子における八王子市の役割は。

現在は、八王子商工会議所職員 4 名がサイバーシルクロード八王子で勤務しています。市は、事業費等の補助やイベントの際の協力等を行っています。

#### ―地方創生に向けて、金融機関に期待することは。

金融機関に対しては、創業者への全般的な相談対応、融資のアドバイス、補助金の申請の支援等を期待しています。また、八王子市は多摩信用金庫を中心に連携していますが、他の金融機関との連携も強化できればと考えています。

なお、創業支援という視点からは、各金融機関の役割やターゲットの違いという点を踏まえても、地方銀行や信用金庫、信用組合、

日本政策金融公庫等との関わりを強化する必要がありと考えています。

#### —創業支援における支援側の研修体制は。

サイバーシルクロード八王子の十数年の歴史の中で、知識やノウハウは担当から担当への引継ぎが中心となっており、マニュアル化がされていません。作業手順がわかるフローチャートのようなものがあると望ましいのかもしれませんが、マニュアルでは対応できないことが多く、経験知が必要なため、相談を受ける中でスキルアップしていくことを大切にしています。

また、月1回、八王子市、八王子商工会議所および多摩信用金庫等の担当で創業に係る連絡会を行うことで、お互いに顔の見える、相談しやすい体制を構築するように努めています。

#### —地方創生における今後の展望は。

八王子市の魅力を活かし、交流人口の増加を目指す旨を「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で定めています。総合戦略の政策軸のひとつとして、企業支援課では、市内中小企業の海外進出や企業誘致の促進等を展開し、活力ある産業都市を目指しています。

(2015年11月17日)





### 八王子商工会議所

所在地：東京都八王子市大横町 11-1

会員数：約 3,700 事業所

URL：http://www.hachioji.or.jp/（八王子商工会議所）

URL：http://www.cyber-silkroad.jp/（サイバーシルクロード八王子）

（2015年11月現在）

八王子商工会議所は1894年に設立され、会員数は約3,700事業所を擁する歴史ある商工会議所である。主要課題として「地域の中での需要の創出」を掲げており、いわゆる「地産・地消」という考え方を経済全般に取り込むことをコンセプトとして活動している。様々な産業振興への取組みの中で、八王子市と連携して設立し、現在は八王子商工会議所内の一組織として位置付けられているサイバーシルクロード八王子の事業について、同事業に携わっている仕舘氏にお話を伺った。

#### —サイバーシルクロード八王子の事業概要は。

中心的な事業内容は、企業人材の育成と創業支援です。新産業の創出に向けた取組みや、産業連携、農業支援、中小企業のIT支援、受発注促進につながる異業種交流事業など幅広い支援を行っています。

#### —サイバーシルクロード八王子における八王子商工会議所の役割は。

サイバーシルクロード八王子は、八王子商工会議所内の一組織として位置付けられており、時流に合わせた企業支援を行っています。また、八王子商工会議所では資金面だけでなく、労務管理、保険、企業、ビジネスネットワーク作りなど経営に関わる様々な悩みに対応するために「中小企業相談所」を設けて事業者をサポートしています。

#### —八王子商工会議所の具体的な取組み内容は。

特徴的なものとして、「中小企業相談所」が管理・運用している「ビジネスお助け隊」によるサポートがあります。これは、幅広い分野に人脈を持っている経験豊富な企業OB、第一線で活躍している公認会計士、中小企業診断士、社会労務士等の有志によって自主的に

組成されています。人の入れ替わりが毎年ありますが、約70名程度で安定して推移しています。

経営についての悩み相談は「中小企業相談所」が窓口となり、課題に対して的確に対応可能な「ビジネスお助け隊」への仲介を行っています。

#### —サイバーシルクロード八王子の創業支援者向けの支援メニューは。

例えば、起業に必要な知識を体系的に学ぶことができる「本気の創業塾」を2005年度から開講しています。

「本気の創業塾」では、起業時に必要な経営ノウハウのほか、経営者としての覚悟や気づきを習得することもできます。また、起業に向けて同じ志を持つ仲間との情報ネットワークの構築にも寄与すると思います。

#### —「本気の創業塾」のポイントは。

先ほどお話しした「ビジネスお助け隊」が塾全体の企画・運営を行っています。独自のカリキュラムで授業を行っているほか、受講時だけでなく、卒業後もフォローアップをすることで、起業前後の様々な悩みに対応

しています。

原則として、全てのカリキュラムを受講した場合、産業競争力強化法にもとづいた「特定創業支援事業」の認定を八王子市が行います。この認定を受けることで、株式会社設立時の登録免許税や創業関連保証について優遇を受けることができます。

また、受講生の同期だけではなく、受講生のOB会「創業塾経営研究会」や、女性経営者限定の女性部会に参加することで縦のネット

ワークを構築することができます。

### —地方創生に向けて金融機関に期待することは。

資金調達面の支援はもちろん、経営改善支援などのきめ細かなサポートもしていただいております。今後も地域活性化に向けた取組みを進めるうえで密接に協力していきたいと思っています。

(2015年11月17日)



「本気の創業塾」の様子